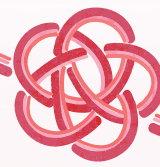




精神科のご紹介



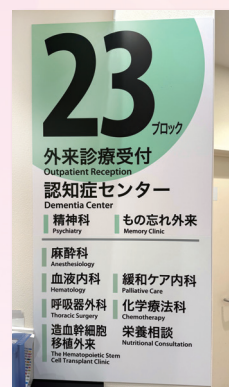
精神科 部長 古田 光

精神科は、現在、常勤医師 5 名（うち精神保健指定医 4 名）、後期研修医 1 名と非常勤公認心理士 2 名が所属しており、65 歳以上の高齢者を主たる対象とした老年精神科として診療を行っています。認知症疾患医療センター認知症専門相談室と連携し、入退院支援や受診相談を行うほか、精神科リエゾンチームや緩和ケアチームの一員として全身疾患や終末期の精神症状にも対応しています。

外来では、高齢者のうつ病や精神病性障害、ストレス関連障害、認知症の行動心理症状（BPSD）の、診断・治療を行い、専門外来として「高齢者うつ病外来」「NPS 外来（BPSD 専門外来）」を設置しています。詳細は次頁をご覧ください。また、脳神経内科と協働して、もの忘れ外来の診療を行っています。

精神科入院病棟は 11 階に位置し、開放的なデイルームからは東京スカイツリーがよく見えます。精査加療目的以外に、レスパイト目的の入院も積極的に受け入れています。急性期病棟のため長期入院はできませんが、多職種による質の高いケアと手厚い退院支援を行っています。

専門療法として、認知機能障害のリスクが低い右片側刺激を原則とした修正型電気けいれん療法（mECT）を年間延べ 200 件以上施行しており、薬物抵抗性うつ病や重症の精神病症状にも対応可能です。2026 年には倍の出力を持つ最新型パルス波治療器へ更新予定です。特に難治性のうつ病でお困りの患者様がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。



専門外来の紹介

◆高齢者うつ病外来

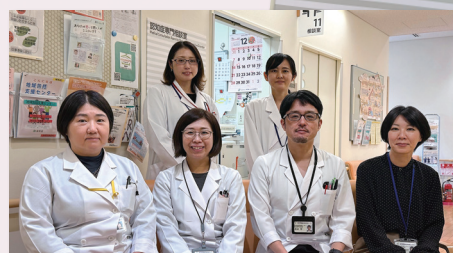
高齢者のうつ病は認知症や身体疾患との鑑別が難しく、早期診断と治療が重要です。当外来では老年精神科専門医が、薬物療法や最新機器を用いた修正型電気けいれん療法に加え、多職種による生活・家族支援を含む包括的診療を行います。65歳以上で抑うつ症状が改善せずにお困りの方がいらっしゃいましたらお気軽にご紹介ください。

◆NPS 外来

NPS 外来は認知症や軽度認知障害に伴うBPSDを中心とした神経精神症状の専門外来で、幻覚・妄想、興奮、不安などに対応します。現在アルツハイマー型認知症の精神病症状に対する治験を実施しています。幻覚・妄想でお困りの認知症の方がいらっしゃいましたらぜひご紹介ください。

認知症専門相談室

認知症専門相談室は、認知症疾患医療センターの一部門で、認知症と精神障害の支援に詳しい常勤・非常勤の精神保健福祉士5名と事務職員1名で構成され、ご本人、ご家族、地域医療介護機関、行政等からの認知症に関わる様々なご相談に対応しています。また、物忘れ外来の受診相談、精神科へのレスパイト入院やBPSD治療目的の入院相談の他、認知症以外の高齢者精神障害の受診、入院相談も担当しています。私達は、医師、看護師、公認心理師らと多職種チームを組み、認知症のある方の「その人らしい生活」を支えるサポートを一体的に提供しています。お気軽にご相談下さい。



外来医師配置表はこちらよりご確認ください。

各種問い合わせ



- 医療連携係（直通） ☎ 03-3579-6963（平日 9:00～17:00）
- 予約センター ☎ 03-3964-4890（平日 9:00～17:00）
- 緊急受診・緊急入院のご相談 ☎ 03-3964-1141
※「緊急受診（入院）の依頼です。〇〇科の連携当番医につないでください」とお話しください。
- 脳卒中ホットライン ☎ 080-4116-1141【医師直通】
※脳卒中の発症が疑われる場合にご活用下さい。
- 循環器ホットライン ☎ 03-3962-8325【医師直通】
※急性冠症候群、弁膜症、心不全、不整脈、大動脈瘤、大動脈解離、急性動脈閉塞など緊急対応が必要な時、その他お困りの時は、いつでもご連絡下さい。
- 急性腹症外科ホットライン ☎ 03-3964-3260（平日 9:00～17:00）【医師直通】
※令和7年4月21日より電話番号変更
※虫垂炎、胆嚢炎、消化管穿孔、ヘルニア嵌頓、絞扼性腸閉塞などを疑う急な腹痛。診断がついていない状態でも構いません。